平成 24 年度　シラバス	学年・期間・区分	５年次 ・ 後期 ・ Ｂ群
	対象学科・専攻	機械，電気電子，電子制御，情報，土木工学科
社会概説Ⅲ（現代史Ⅱ） Introduction to Social Study Ⅲ （Modern History Ⅱ）	担当教員	鮫島　俊秀（Sameshima , Toshihide）
	教員室	一般科目棟３階（TEL：42-9045）
	E-Mail	t_samesi@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 ／ 単位の種別 ／ 単位数	講義 ／ 学修単位〔講義Ⅱ〕 ／ ２単位	
週あたりの学習時間と回数	〔授業（100 分）＋自学自習（200 分）〕×18 回	

〔本科目の目標〕　よき技術者としてだけではなく、よき市民として現代社会及び人類の未来に貢献できるに足る歴史的知識及び歴史的思考力を養うことを目標とする。

〔本科目の位置付け〕　１、２、３年次の歴史及び地理、倫理、政経における学習内容を基礎とする。１、２年次の歴史では時間数の関係で学習し得なかったテーマの中で興味深いものを取り上げながら、現代まで時を下っていく。

〔学習上の留意点〕　我々の生きている現代は人類の様々な営みの上に築かれたものである。現代社会を理解するためにも興味を持って講義を聴くことが肝要。また、時事問題も適宜扱っていくため、事前に新聞記事等にも目を通すなどの予習が必要。さらに、講義終了後、ノート・資料の整理等の復習を行う。なお、演習形式の授業も計画しているため、希望者多数の場合は、受講者を 40 名程度に絞る予定である。

〔授業の内容〕

授　業　項　目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
１．現代の世界	１４	□ 近代までの世界史（現代史を理解するために1、2年次未習事項のフォローアップ）、特に、1900年以降の世界史の概要を理解することができる。	担当教員の指示する文献等を読み、各授業項目の概要を把握しておくこと。
--- 後学中間試験 ---	2	授業項目1について達成度を確認する。	
２．歴史研究入門	8	□ 郷土史研究の実例を題材に歴史研究の手法を理解することができる。	
３．今を観るための現代史	8	□ 現代社会を生きていくうえで必要なテーマ史、時事問題について理解を深めることができる。	
--- 後学期末試験 ---	2	授業項目 1～7 について達成度を確認する。	
試験答案の返却・解説	2	試験において誤った部分を理解できる。	

〔教科書〕　「新選　世界史Ｂ」（東京書籍）１・２年次の教科書を必要に応じて持参する。
〔参考書・補助教材〕　「新選　図説世界史」（東京書籍）１年次の補助教材を必要に応じて持参する。

〔成績評価の基準〕　定期試験(70%)＋平常テスト・レポート(30%)－授業態度（上限15%）

〔本科（準学士課程）の学習教育目標との関連〕　1-a ， 4-b
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕　1-1 , 4-1
〔JABEEとの関連〕　(a) , (b)

Memo